

冗談からコマ? オートサロンに出演し、走り屋からの客のような反響があり、発売に踏み切つたマッキー。このZELDA(ゼルダ)の主な親は、オレ運走り屋だ。

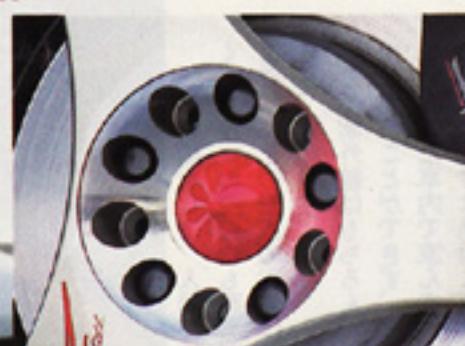
みんなホシーハー  
て言うから、  
値金こさえ  
作りましたわー



走り屋が求めた、この絶品  
キャリバーむき出し  
の三角スポークが  
ヤル気をひく



カラーバリエーションは、シルバー／ガンメタ／シャンパンゴールド／パールホワイトの4色。



一見マルチPCD風のホールは、カッコつけと、軽量化のためでもある。ピッチは114.3で4穴5穴対応。(4穴は8ホール)



スポーツの数が減れば、単純に強度不足になりがち。そのへんは、何回もの強度テストを生かして、見えないところにしつかり補強が入る。

のホイールは、売る。なんてコトはまったく考えてなく、あくまで  
もあの豪邸、GTRのオートサロ  
ン出展用プロトタイプだったのだ  
だ。

会場では、「ほら、エエやろ、  
この3本スポーク、ゴツツかっこ  
ええやろー」とお客様ひとりひ  
が、リムとの接点が小さいため、  
強度を保つために、いろいろな箇  
所への補強が試された。もちろん  
バチッと決まる三角スポークだ  
が、発売するんやつたら、マジや  
ー」というなにわ魂で改良に改良  
を重ね、豪邸、GTRを凌ぐ開  
発費をぶつ込んだ。

RY FORCE ZELDA」というわけ。  
このホイールは、マッキーの遊  
び心と、走り屋の熱望が見事に融合して生まれたもの。これこそオ  
レ達が求めていたホイールと、言  
えるんじゃないかな。

トライアル  
TRY FORCE  
ZELDA

お遊び半分で試しに  
オートサロン出展、が、  
思わぬ人気に、  
ヒヨータンから  
「○や×はもう飽きた。ブレーキ  
キャリバーがバツチリ見えて、も  
っとカツチヨええホイールを作り  
たい!」

なんて思い立ったチューナー、  
そう、そのヒトは、こ存じトライ  
アル・マッキー牧原。が、実は二  
のホイールは、売る。なんてコト  
はまったく考えてなく、あくまで  
もあの豪邸、GTRのオートサ  
ロン出展用プロトタイプだったの  
だ。

「ほんなら、一発売つたろーかー」と  
いうワケで、このスーパー ホイ  
ールの誕生となつたのだ。となれ  
ば、今度は冗談半分じや許されな  
い。

「ほんなら、一発売つたろーかー」と  
いうワケで、このスーパー ホイ  
ールの誕生となつたのだ。となれ  
ば、今度は冗談半分じや許されな  
い。

買ってくれたら、  
ワタシ○が手裏剣して  
ア・ゲ・ル  
コテコテ愛ちゃん

ZELDA SPEC

SIZE	OFFSET	P.C.D.	HOLE	PRICE
8.0JJ-17	★+14 ★+20 ★+35 +40 +45	114.3	8/10	5万5000円
9.0JJ-17	★+14 ★+20 ★+35 +40 +45	114.3	8/10	5万7000円
10.0JJ-17	★+14 ★+20 ★+35 +40 +45	114.3	8/10	5万9000円

★印はスカイライン、シルビア、Z、スープラのビッグキャリバー対応サイズ